

## 清川泰次 (美術家)

ぎよかわ・たいじ  
 (1919~2000) 浜松市生、  
 1949年より東京都世田谷区成城の  
 アトリエにて制作。

### 略歴

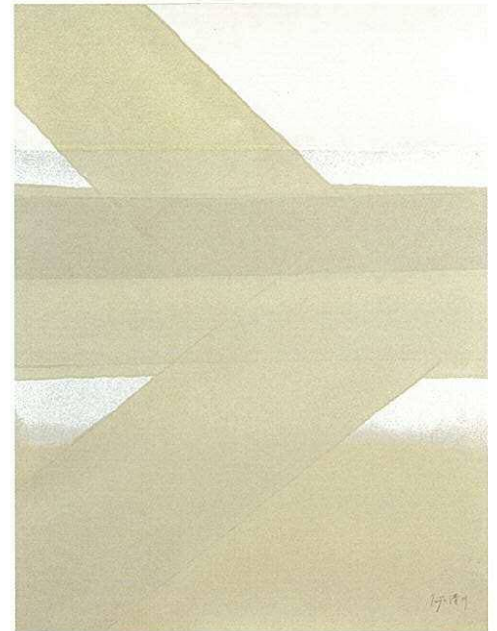
1944年慶大卒、後、抽象画家としてアメリカ、ヨーロッパ、アジアを歴訪、在外生活7年、特異な純粋絵画を内外で発表、二科賞1951年、安田火災東郷青児美術館大賞1983年、作品が永久保存品となっている美術館にニューヨークのグーゲンハイム美術館、リンカーンセンター・デビス美術館、サンフランシスコ近代美術館、東京国立近代美術館、国立国際美術館、神奈川県立近代美術館、浜松市美術館、京都国立近代美術館、安田火災東郷青児美術館、世田谷美術館、原美術館、埼玉県立近代美術館、静岡県立美術館、等に100号、200号、1000号等の大作がある。又、慶應義塾大学等公共施設に絵画、彫刻を飾る。浜松市天竜区玖延禅寺に共同納骨堂を建立寄進。日本最大の観光バスにデザイン画、装幀、装飾、陶器、ガラス器、布、紙、石、木、金属等にデザイン。著書に美術出版社等より出された「絵と言葉」、「絵と心」、「パリの裏街」(石井好子と共著)、「白の世界」、「僕のノート」、「清川泰次の世界」、清川泰次画集「我が青春」、画集「色」、画集「平面と立体」、画集「作品と言葉」、「清川泰次芸術館収蔵作品画集」、「芸術とは何か」等がある。1995年5月「御前崎町清川泰次芸術館」完成。1958年以後どこの会にも所属せず、個展発表主義を続ける。2000年8月死去。2003年清川泰次記念ギャラリー(世田谷美術館分館)開館。

私は絵の中に物語りや「もの」を  
 写し入れることをしない。

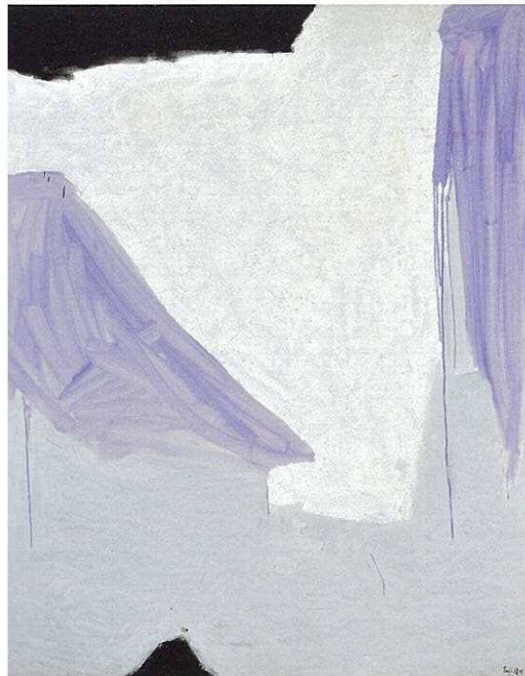
いつも、自由な線と色と面の構成で  
 今だかつて見たこともない美を  
 創り出すことに感動しつづけて、  
 制作を続けている。



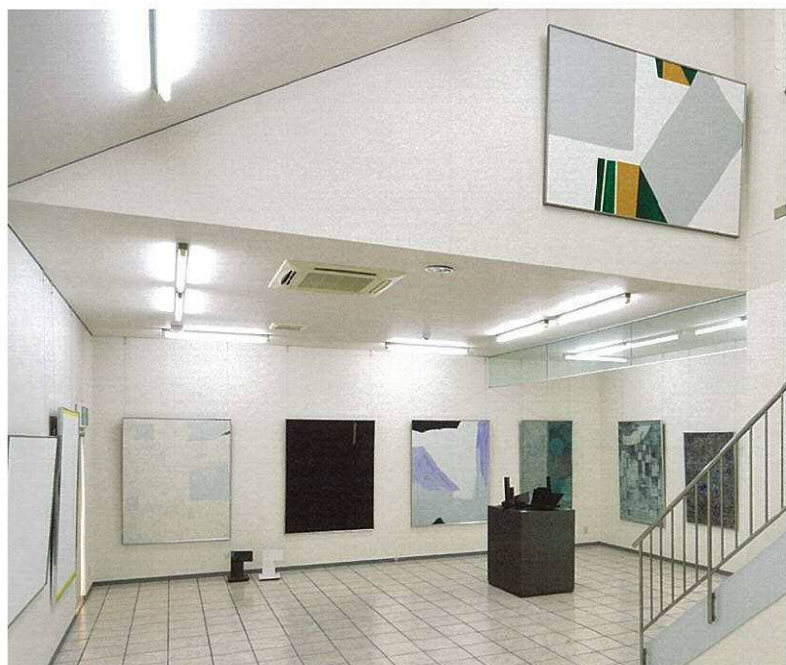
「Painting No. 全 OM794」 72.7×54.5cm(全紙)  
 Acryl on Paper 1994年



「Painting No.5288」 72.7×54.5cm(全紙)  
 Acryl on Paper 1988年



「Painting No.862-3」 162.1×130.3cm(F100)  
 Oil on Canvas 1962-3年



## 市民ギャラリー

